

# 花のある 空間

大高 令子



## バラが奏でる 秋のベーシック

今月の花材

バラ（シュナーベル）・秋紫陽花・トサミズキ（葉）

10月は、一足先に涼しくなった産地から、美しい秋バラが届く時期です。

今回は、そのなかからベージュ色のものを選んで、オフィスに秋の気配を取り入れてみましょう。

まず、器を用意して、吸水性スポンジをセットします。吸水性スポンジは、器の縁あたりと同じ高さにそろえます。この際、落ち着いた色の器であれば、バラの色と調和しやす

いでしょう。

次に、トサミズキの枝を挿して、作品の大まかな高さや幅、そして奥行きを決めます。

そして、主役のバラが生き生きと見えるように、凹凸をつけながら全体に挿していきます。バラの茎に付く下葉は、あらかじめ落としておくとういでしょう。

さらに、バラとバラの間に紫陽花を差し入れて、空間を埋めます。

最後に、再びトサミズキを使って作品全体に動きをつけます。長短さまざまな長さにカットして、バランスを見ながら挿していきましょう。

どの素材もカットする際は、茎の断面を斜めにしておくと表面積が大きくなり、花が長持ちします。

特に紫陽花は、茎を斜めに切ったうえで中の白いワタを取り除いておくと、さらに水揚げがよくなります。ときおり水の補給も必要です。▲